

特集 今を生きる若者の意識 ～国際比較からみえてくるもの～

はじめに

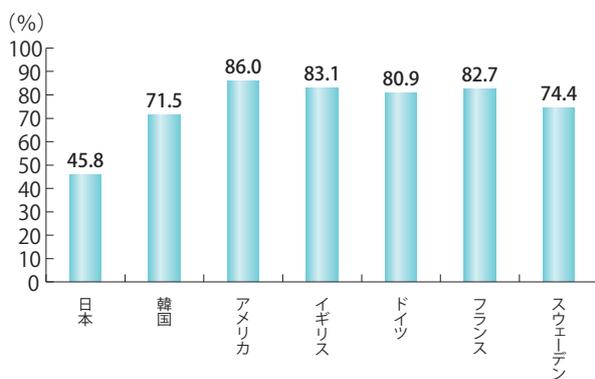
- 日本の将来を担う子どもたちは、我が国の一番の宝である。子どもたちの命と未来を守り、無限の可能性に満ちたチャレンジ精神にあふれる若者が活躍する活力にみちた社会を創り上げていかなければならない。
- かけがえのない「今」を生活している子ども・若者が、自分や家族、社会に対してどのような思いを抱いているのかを的確に把握することが重要。
- 日本を含めた7カ国の満13～29歳の若者を対象とした意識調査（我が国と諸外国の若者の意識に関する調査（平成25年度））の結果からみえる、日本の若者の意識の特徴を、自己認識、家庭、学校、友人関係、職場、結婚・育児の6つの項目から分析し、子ども・若者育成支援施策に対する示唆を考察。

1. 自己認識

(1) 自己肯定感

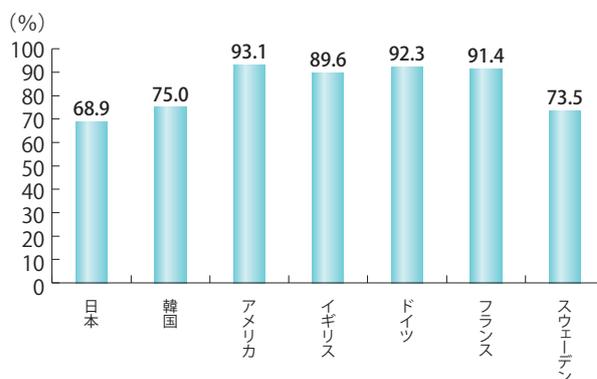
- 諸外国と比べて、自己を肯定的に捉えている者の割合が低い。(図表1, 図表2)

図表1 自分自身に満足している



(注) 「次のことがらがあなた自身にどのくらいあてはまりますか。」との問いに対し、「私は、自分自身に満足している」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

図表2 自分には長所がある

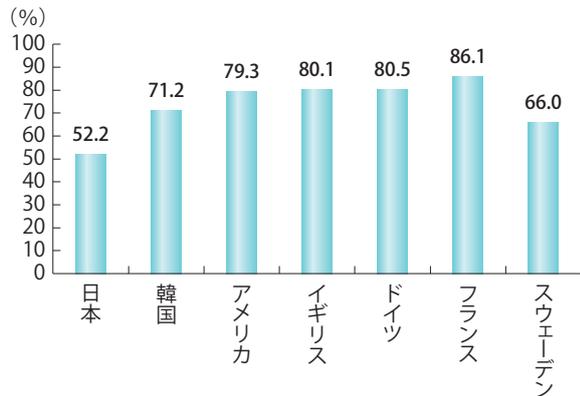


(注) 「次のことがらがあなた自身にどのくらいあてはまりますか。」との問いに対し、「自分には長所があると感じている」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

(2) 意欲

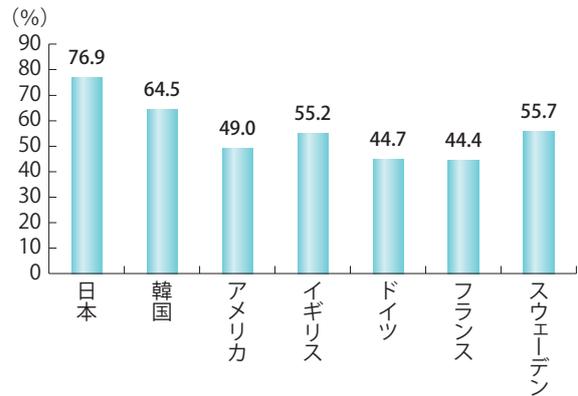
- 諸外国と比べて、うまくいくかわからないことに対し意欲的に取り組むという意識が低く、つまり、やる気が出ないと感じる若者が多い。(図表3, 図表4)

図表3 うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む



(注) 「次のことがらがあなた自身にどのくらいあてはまりますか。」との問いに対し、「うまくいくかわからないことにも意欲的に取り組む」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

図表4 つまらない、やる気が出ないと感じたこと

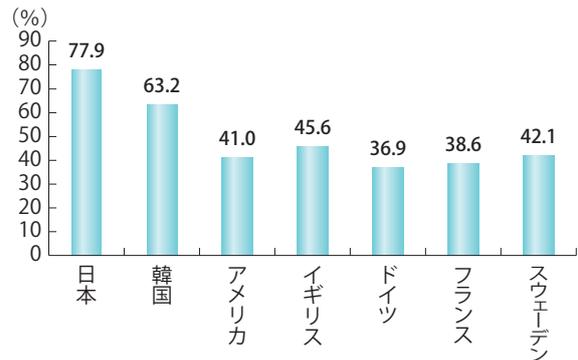


(注) この1週間の心の状態について「次のような気分やことがらに関して、あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。」との問いに対し、「つまらない、やる気がでないと感じたこと」に「あった」「どちらかといえばあった」と回答した者の合計。

(3) 心の状態

○諸外国と比べて、悲しい、ゆううつだと感じている者の割合が高い。(図表5)

図表5 ゆうつだと感じた

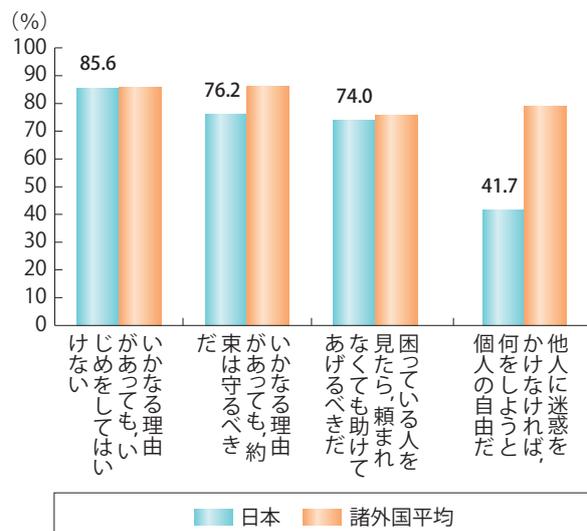


(注) この1週間の心の状態について「次のような気分やことがらに関して、あてはまるものをそれぞれ1つ選んでください。」との問いに対し、「ゆううつだと感じたこと」に「あった」「どちらかといえばあった」と回答した者の合計。

(4) 社会規範

○諸外国の若者と同程度かそれ以上に、規範意識を持っている。(図表6)

図表6 社会規範

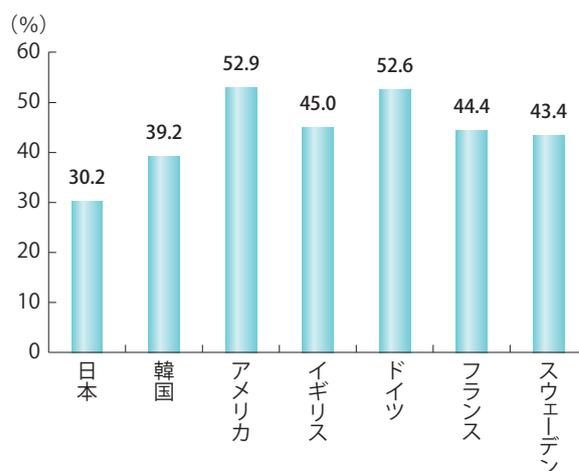


(注) 「あなたは次のことについてどう思いますか。」との問いに対し、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

(5) 社会形成・社会参加

○社会問題への関与や自身の社会参加について、日本の若者の意識は諸外国と比べて、相対的に低い。(図表7)

図表7 社会現象が変えられるかもしれない

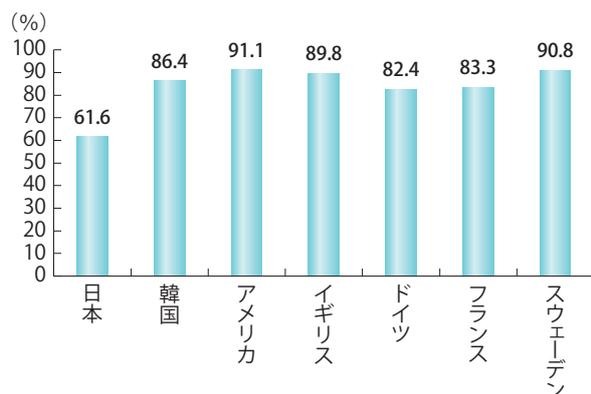


(注)「次のような意見について、あなたはどのように考えますか。」との問いに対し、「私の参加により、変えてほしい社会現象が少し変えられるかもしれない」に「そう思う」「どちらかといえば関そう思う」と回答した者の合計。

(6) 自らの将来に対するイメージ

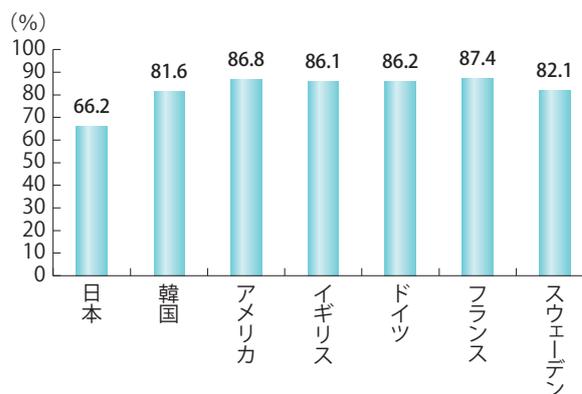
○諸外国と比べて、自分の将来に明るい希望を持っていない。(図表8, 図表9)

図表8 将来への希望



(注)「あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。」との問いに対し、「希望がある」「どちらかといえば希望がある」と回答した者の合計。

図表9 40歳になったときのイメージ (幸せになっている)



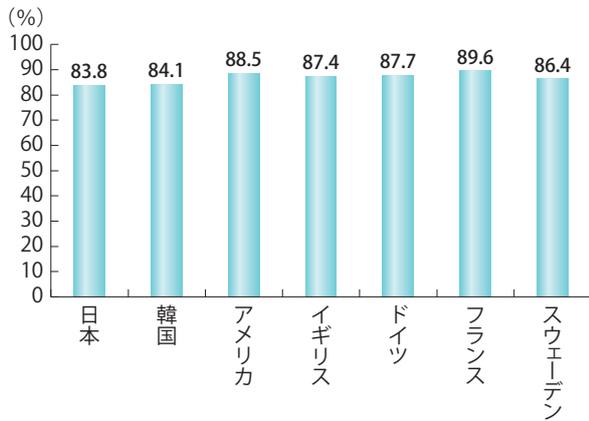
(注)「あなたが40歳くらいになったとき、どのようになっていると思いますか。」との問いに対し、「幸せになっている」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

2. 家族・家庭生活

○親からの愛情に対する意識は、日本の若者と諸外国とで大きな差はない。(図表10)

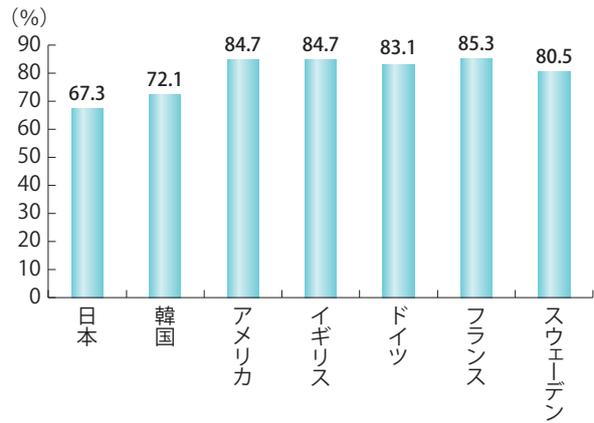
○一方で、家族といるときの充実感や家庭生活の満足度は、相対的に低い。(図表11)

図表10 親から愛されている・大切にされている



(注) 「次のことがらにあなた自身にどのくらいあてはまりますか。」との問いに対し、「自分の親から愛されている(大切にされている)と思う」に「そう思う」「どちらかといえばそう思う」と回答した者の合計。

図表11 充実感(家族といるとき)

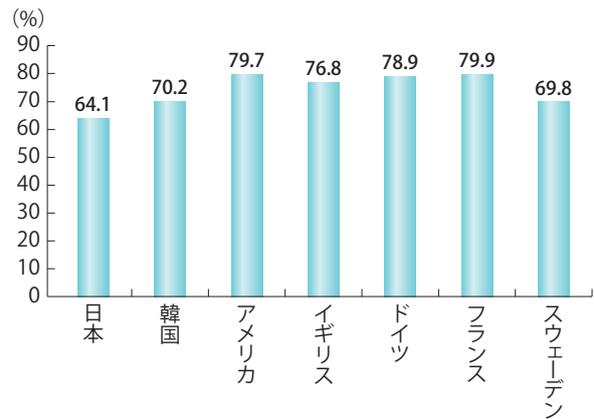


(注) 「あなたは、どんなときに充実していると感じますか。」との問いに対し、「家族といるとき」に「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した者の合計。

3. 友人

- 友人関係への満足度、安心感は、いずれも諸外国と比べると相対的にやや低い。(図表12)

図表12 友人関係の満足度



(注) 「あなたは、友人との関係に満足を感じていますか、それとも不満を感じていますか。」との問いに対し、「満足」「どちらかといえば満足」と回答した者の合計。

4. 自国に対する認識

- 自国人であることに誇りを持っている割合は、諸外国と同程度。(図表13)
- 自国のために役立つことをしたいと思っている割合は、諸外国と比べて相対的に高い。(図表14)